



# 三角帆

< あいさつ ・ えがお ・ おもいやり >

## ●●●●●●●●●●目標にむけ頑張る冬休みに●●●●●●●●●●

いよいよ平成30年も残すところあとわずかとなりました。子ども達は明日から始まる冬休みにワクワクしていることでしょう。2学期は、台風や地震によるブラックアウト、クマ出没情報など学校の危機管理を問われる出来事もありましたが、マラソン記録会、学芸会、公開研究会等、保護者の皆様にご協力頂き、予定しておりました教育活動を無事に行なうことができました。心より感謝申し上げます。

さて、12月に入って今年も学校評価のお願いをいたしました。保護者の皆様、児童、教師が同じような視点に立ってこれまでの教育活動を振り返るといえるものです。それぞれの立場の違いや、思いの違いをくみ取り、来年に生かしていくためのものです。この学校評価は冬休み中に分析検討し、後日ご報告いたしますが、それとは別に「野付の子あたりまえ10か条」についても毎週子ども達に自己評価をしてもらっています。これは、子どもたち自身が意識して良い習慣を身に付けていけるように行っているものです。

右の表は、2学期後半に、「あたりまえ10か条」ができた  
と自己評価した子ども達の全校平均（パーセント）です。週ごとに変わったり、もちろん学年や個人でも違います。本来は、自己評価することで自分や学級のどこに課題があるかみつめて、取り組むことを目的にしているのですが、このように平均化して数字に表すことはしていませんが、子ども達の頑張りをお知らせするために表にしてみました。

あたりまえ10か条	%
1. あいさつを先にする	82
2. 「はい」と返事をする	81
3. 「です。ます。」を使う	75
4. イスをしまう	68
5. 廊下を歩く	63
6. 学習の準備をする	75
7. 姿勢を良くする	59
8. 直線を定規で引く	77
9. チャイムを守る	73
10. 字を丁寧に書く	58

全校91名の子ども達が「野付のあたりまえ10か条」について、毎週振り返り、良い学習習慣や生活習慣を身に付けるため頑張っている姿と、とらえていただければと思います。

中にはもう少しという子も確かにいます。そこは、この「10か条」を身に付けることの良さを感じさせたり、伝えたりすることで、その大切さを今一度考えさせるようにしています。子ども達が、やらされているのではなく、本当にその必要性を感じ努力を始めた時に本物になる。そのために学校としての努力をこれからも続けていきたいと思っています。

明日からは24日間の長い冬休み、子ども達は様々な頑張る目標をたてました。早寝早起きだったり、毎日の家庭学習だったり、お手伝いだったり、その一つ一つに、こんな冬休みにしたいという願いが込められています。その目標を子ども達が自分の力で少しでも実践し、充実した冬休みになってくれたらと思っています。大人でもやろうと思ったことを実行に移し、それを続けることはなかなか難しいことです。子どもならなおさらです。でも、自分なりに努力すること、そして少しでも続けることができたなら、それは大きな自信につながり、次へつながっていきます。どうぞ、子ども達が頑張れるようご家庭での声掛けをお願いしたいと思います。

今年一年、様々な形でのご支援、ご協力ありがとうございました。どうぞ皆様 良いお年をお迎えください。

校長 山本 尋子

